

# 一部損壊にも10万円の義援金の配分

## 修理費用100万円以上の世帯

熊本地震で、一部損壊の被害を受けた世帯に対して、修理費用が100万円以上を要件に10万円の義援金が配分されることが明らかになりました。

被災者への支援メニューのほとんどが半壊以上となっているなかで、一部損壊にも何らかの支援をという切実な声がこれまでも多く寄せられていました。

共産党としても市民のみなさんと協力し、一部損壊世帯への支援を求める署名活動に取り組んで



たほか、議会でも一部損壊世帯への支援創設を求めてきました。

今回、一部損壊への支援の一步が踏み出されたことが、被災者を激励しています。引き続き、被災者の声を議会に届けるために力を尽くす決意です。

## 全・半壊世帯への支援拡充

### 一部損壊世帯へ熊本市独自の支援制度を！

今回の一部損壊世帯への支援については、県や日赤に寄せられた募金はその原資となっています。

大きな一歩ですが、被害の実態からすれば、さらなる支援が必要

です。全・半壊世帯への支援制度の上乗せや一部損壊世帯（修繕費100万円未満も含む）への支援創設など、熊本市独自の取り組みが求められます。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか やまべひろし

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟3階

NO. 1023

2016年11月20日号

電話 328-2656

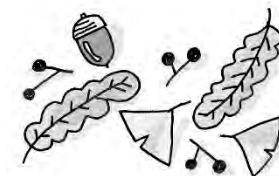
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：<http://www.jcp-kumamoto.com/>

・・・12月議会の日程が決まりました・・・

- 12月5日(月) 開会日
- 6日(火)～9日(金) 一般質問
- 13日(火) 各委員会・分科会
- 16日(金) 予算決算委員会締めくくり質疑
- 20日(火) 閉会日



\*本会議場が被災したため、一般質問等は予算決算委員会室で行われます。直接、傍聴することができませんが、市役所1階、議会棟5階のモニターで傍聴することができます。

\*各委員会は、市役所内に設けられたモニターにて傍聴できます。

\*請願提出締め切りは、12月5日(月)午後5時

陳情提出締め切りは、12月6日(火)午後5時

★日本共産党市議団の一般質問は、やまべひろし議員です

12月6日(火) 午後2時より



(控え室から)

子どもはあっとい間こ...

なすまどか



この前、生まれたと思っていた長女が、来年4月には小学生になります。月日の流れはなんと早いことか...。先日は、入学予定児童の健康診断があるということとで、一緒に小学校へ行きました。子どもの健診中に、親に対して子育てに関わる講演が行われたわけですが、そのなかで、「最近、子どものどんなことを褒めましたか?」とマイクを向けられました。私も含め多くの親が、子どもの行動の結果を褒めたエピソードを語っておられました。

講師の方から、結果を褒めることと合わせ、過程を褒めること、存在を褒めることの重要性が語られた時、改めて子どもとのこの6年間を振り返りました。

生まれてきてくれた時や、一所懸命に歩こうとしていた時など、存在そのものや何かに頑張ろうとしている姿に一喜一憂し、親として幸せを感じてきました。

子どもが大きくなるにつれ、ついつい「結果」だけに目を向けていなかっただけか自分自身を振り返ることも、過程や存在そのものを褒めることができる親になれるよう成長せねばと感じた一日でした。

# 市民の声も聞かずに、策定された「震災復興計画」 なぜ、MICE施設(熊本城ホール)が「重点プロジェクト」?

10月14日の臨時議会で、上野美恵子議員が「震災復興計画」の問題点を指摘し、反対討論を行いました

## 「MICE整備が重点プロジェクト」に市民の理解は得られない

熊本市の「震災復興計画」は、大型開発型のまちづくりに重点を置いた「総合計画」の一部に位置付けたことで、桜町再開発へのMICE・(仮称)「熊本城ホール」という市政史上最大のハコモノを重点プロジェクトにしました。これは、復旧・復興を重点的にすすめるここ3～4年の市財政を圧迫し、市民の切実な願

いである生活や住宅の再建が不十分となるだけでなく、暮らし福祉の切り捨てにつながります。(子ども医療費助成は、県下最悪の小学校3年生まで)桜町再開発へのMICE整備は、キッパリ中止し、生活や住宅の再建、液状化や地盤被害の復旧など、熊本地震の復興を最優先ですすめるべきです。

## 「財政計画」のない「震災復興計画」の問題点

市が示す「熊本地震の財政影響試算と今後の対応」は、本格的な復興に向けどのような事業が行われ、どのような事業費が必要となるのか、そのための財源をどのように確保していくのか、先の見えない試算と対応です。今後の対策を行う液状化や地盤対策には莫大な費用が必要なので、行政の支援は不可欠です。一部損壊への支援や土地への被害、復興住宅など、多額の費用を必要とする事業の内容を示し、その財源をきちんと示すことこそ、真の復興です。

すでに今年度の当初予算事業費は100億円削られ、次年度予算編成では、過去に例のない、現行サービス提供ができなくなるような予算の15%削減方針が出されています。補助金含め450億円もの投資となるMICE整備は、震災復興にとって、財政面での大きな足かせになります。これは財政計画のない復興計画だからこそできることです。



## 行き過ぎた行財政改革の心配

復興財源ねん出のため、徹底した行財政改革に取り組むとされています。しかし、民間委託の学校給食施設が災害時に利用できなかったことや、指定管理のコミュニティセンターの圧倒的多数が避難所としての機能を十分果たせなかったなど、地震発生時、民間委託の問題点が顕著に示されました。行き過ぎた行財政改革による大幅な財政削減は、大切な住民サービスが低下させます。

## 市民の声を反映していない

今後数年間の市の大事な課題や取り組みを明記する重要な計画であるにもかかわらず、市民説明会も開かれていません。市民への説明責任を果たさず、意見も聞かないで拙速に議決された「復興計画」は、「被災者一人一人に寄り添う」という点では不十分です。市民の意見をよく聞き、一部損壊や液状化・地盤被害等への支援などを明記し、市民の願いに応えられる計画にすべきです。

【就学援助制度】 (経済的な理由で就学困難な児童生徒に学用品・給食費等の援助をする制度)

## 「新入学児童生徒学用品費」が「入学前支給」(3月)に改善

熊本市立の小中学校および熊大付属小中学校に、2017年度入学予定の児童生徒の保護者に対し、2017年1月中旬に申請すれば、入学前の3月に「新入学児童生徒学用品費」が支給されるよう、改善されました。

新小学生は入学説明会で申込書が配布されています。新中学生は、12月頃に在籍の小学校よりお知らせされます。(期限を過ぎて申し込んでも後日支給されます)

入学費用の負担が大きいことから、党市議団や新日本婦人の会などから繰り返し要望していたものです。

\*お問い合わせは、学務課☎328-2716、または党市議団☎328-2656 へ